

◎地域福祉計画進行管理票(市民・地域の役割に関する事項)

No		取り組み	内容	アンケートの結果	意見等	
1	第1節 福祉意識を醸成する 仕組みづくり	「あいさつ運動」の実施	隣近所など身近な地域であいさつ・声かけを行うよう心がけます。	・積極的な取り組みがある 10人 ・取り組みがある 20人 ・取り組みがない 6人		・園児・保護者・職員で、通学時にあいさつ運動を実施している。 ・小学校、中学校の朝の挨拶運動に参加した。朝の散歩の時、出会う人に挨拶を心掛けた。 ・隣近所に限らず、どこかで会った事があると思ったら自分から声掛けをしています。又、小・中学生にはすれ違う時に「おはよう、気を付けてね」と！ ・登下校時のあいさつが活発になってきている。また、子供たちからも声が出ている。 ・集落内では習慣として実施している。 ・自治会や環境美化組織等の集まりの中で話し合っている。
2		「地域福祉」の考え方の普及	「地域における支え合い・助け合い」の考え方を、家庭や地域で共通の認識を持ちます。常日頃からの近所付き合いを意識して行い、人と人との絆を強めます。	・積極的な取り組みがある 10人 ・取り組みがある 17人 ・取り組みがない 8人		・老人会、女性会、子供会、各班の行事等を連携して行い、人と人の交流をしている。 ・自治会行事時に一人暮らしや弱者への取り組みと確認を行っている。自治会役員と民生委員、児童委員との共通認識を持つよう心掛けている。 ・自警団・自治会などとコミュニケーションをとり共通の認識を持つよう心がけている。 ・集落での集まり事があるときは、なるべく誘うようにしている。
3		「ノーマライゼーション」の理念の普及	障害のある人や高齢者など、すべての人がその人らしく生活しながら、ともに生き、ともに暮らしていくという「ノーマライゼーション」の理念を理解します。	・積極的な取り組みがある 5人 ・取り組みがある 10人 ・取り組みがない 17人		・各種行事に参加をうながし共通理解に努めている。 ・地域のボランティア活動への参加・協力。 ・自治会の会合等において地域福祉の現状や今後のあるべき姿について話し合いを持つ。 ・障害者施設や老人会等の集いに積極的に参加・協力している。 ・買い物や病院などに行く手立てを考えている。
4		福祉教育・交流教育の充実	家庭や地域の中で、福祉の意識を浸透させます。	・積極的な取り組みがある 4人 ・取り組みがある 12人 ・取り組みがない 15人		・自治会を中心にし、広報に努めている。 ・高齢者の増加に伴い、地域の見守り体制をどうするか、自治会活動の今後の課題としている。 ・筑西市社会奉仕団体紹介の作成配布、福祉サービスについて機会あるごとに話している。
5		生涯学習・趣味活動の充実	生涯学習センター・地域交流センター・中央公民館・各地区公民館での各種講座や老人クラブなどによる学習や趣味活動、サークル活動などに参加します。	・積極的な取り組みがある 12人 ・取り組みがある 18人 ・取り組みがない 5人		・高齢者クラブ、民生委員、自治会、文化協会活動等を通してコミュニケーションを取っている。 ・趣味を活かしたボランティア活動を実施しており、福祉施設等の入所者に楽しんでいただいている。 ・地域の行事や健康推進委員会事業等への参加をしている。 ・地域の高齢者に対し、趣味活動や公民館の講座等に参加するよう情報提供を行っている。
6		自治会・町内会などの活性化	身近な地域の単位である自治会・町内会やコミュニティ活動に参加します。子どもや若者から高齢者まで、すべての人を対象にした行事や世代間交流を図るための行事を取り入れるなど、地域住民の交流やつながりを強め、地域全体で誰もが参加できる地域活動を進めます。	・積極的な取り組みがある 6人 ・取り組みがある 19人 ・取り組みがない 10人		・地域の行事、夏祭り等に参加し、地域活動に関わっている。 ・自治会に協力したり、クリーン作戦等に参加し、地域活動を後押ししている。 ・若者や高齢者まで全ての人を対象に世代間交流を図っている。 ・防災などの連絡会(町内の集まり)に参加。
7	第2節 地域活動を促進する 体制づくり	民生委員児童委員活動の推進	地域の民生委員児童委員を知るようにします。	・積極的な取り組みがある 7人 ・取り組みがある 20人 ・取り組みがない 7人		・地域の民生委員が積極的に活動してくれるので委員の顔を知っている。 ・地域全体にリーフレット等を配布して活動を推進している。 ・独居老人の訪問を通して民生委員を知る。又、支部社協の推進として行動を共にする。 ・自治会長、班長さんを通じて民生委員、児童委員の役割を伝えている。 ・民生委員を経験したので、後任の民生委員のフォロー・普及に努めている。 ・後任選定については、自治会長との密なる討議が必要と考える。
8		各分野におけるリーダーの育成				
9		地域活動のための既存施設の有効活用	地域活動を行う際、地域の既存施設を有効に活用します。	・積極的な取り組みがある 12人 ・取り組みがある 14人 ・取り組みがない 8人		・子供会、自治会、高齢者クラブ、班の集会等有効に活用している。 ・健康体操等で活用している。 ・児童館をおはやしの練習、ヨガ教室、カラオケ等に積極的に開放している。
10		活動情報の提供	ボランティアやNPO活動の情報を積極的に収集します。	・積極的な取り組みがある 4人 ・取り組みがある 14人 ・取り組みがない 6人		・市ボランティア連絡会の情報収集、市民運営連絡会の情報収集 ・エコ活動が盛んで積極的に取り組んでいる。 ・趣味を兼ねてボランティア活動をしているので情報交換をする時が多い。 ・市ホームページや市報などで情報を収集している。 ・郵便局の駐車場(道路面)の掲示板(ガラス付長期掲示)を活用している。 ・定期的に情報収集を行っている。
11	ボランティアの養成支援					
12	ボランティアセンター機能の充実	ボランティアセンターを活用し、団体同士の交流や情報交換を行います。	・積極的な取り組みがある 3人 ・取り組みがある 10人 ・取り組みがない 20人		・公民館での会議、行事等について情報交換をしている。 ・ボランティア各団体との情報交換を行っている。 ・団体同士の交流はあるが、ボランティアセンターは活用していない。 ・ボランティア連絡会、センター市民協働まちづくりを活用し交流や情報交換をしている。	
13	活動拠点の確保への支援	学校の余裕教室、空き店舗、空き家などの地域資源を活用し、活動拠点を確保します。	・積極的な取り組みがある 1人 ・取り組みがある 7人 ・取り組みがない 27人		・小学校の教室を借りて、高齢者の方への生きがいサロンを週1回開いています。 ・公民館や社協などを利用している。 ・学校の余裕教室など地域資源の活用はボランティアの要請団体がしてくれている。	

14	3団体・機関の連携	活動団体間の連携強化	地域の各種団体同士で連絡・調整を行うなど連携を強化し、ボランティア団体同士が枠を越えネットワークを組んでいます。	・積極的な取り組みがある 6人 ・取り組みがある 10人 ・取り組みがない 15人		・文化団体や健康のための団体、老人会等は協力しています。 ・現存各種団体同士での連絡調整を行うなど枠を越えたネットワークを組んでいる。 ・茨城県シニアマスターに登録、ボランティア連絡会等に積極的に参加し連携など強化している。	
15		自治会と民生委員児童委員の連携強化					
16		関係機関・団体のネットワークの強化					
17	1情報発信・相談体制の充実	多彩な手段による情報提供	福祉サービスのチラシやパンフレットなどの情報を、自ら確認するようにします。行政機関と各家庭の中間的立場である自治委員や民生委員児童委員などが、福祉サービスについての説明を行います。	・積極的な取り組みがある 6人 ・取り組みがある 14人 ・取り組みがない 14人		・必要な情報を一人暮らしの高齢者に提供している。 ・自治会長を通じて各班長さんにパンフレット等を住民に配布して理解してもらう。 ・民生委員と自治会長が連絡を強化し、福祉の充実について説明している。 ・公民館・郵便局等でパンフレット等(ポスターも含む)を周知・配布 ・福祉サービスのチラシやパンフレットなど、できるだけ読むようにしている。	
18		対象者ごとのきめ細かな相談の充実	困りごとがある場合には気軽に相談するようにします。また、相談できる場所や手段についての情報を地域の中で共有します。	・積極的な取り組みがある 2人 ・取り組みがある 17人 ・取り組みがない 15人		・心配ごと相談、青少年電話相談を地域で共有。 ・話しかけられた時、本当に役に立つ手段を見付けられるよう情報を共有したいです。 ・包括支援センターの紹介等を行っている。 ・相談があれば積極的に取り組んでいます。 ・地域の高齢者に対し、相談援助を行っている。	
19		福祉相談窓口の充実					
20		相談員等の資質向上の推進					
21	2適切なサービス提供	専門職向け研修会等の充実					
22		生活保護世帯・生活困窮者世帯への支援の充実					
23		「日常生活自立支援事業」の普及	判断能力が不十分な方でも福祉サービスが適切に受けられるよう、日常生活自立支援事業について知り、必要に応じて活用します。	・積極的な取り組みがある 1人 ・取り組みがある 13人 ・取り組みがない 19人		・必要な方に対し、説明を。 ・能力が不十分な方でも福祉サービスが適切に受けられるよう必要に応じて活用。 ・積極的ではないが必要に応じて活用している。 ・必要な人に対し、事業の説明や利用できるよう援助している。	
24		「成年後見制度」の利用の支援	判断能力が不十分な方でも福祉サービスが適切に受けられるよう、成年後見制度について知り、必要に応じて活用します。	・積極的な取り組みがある 0人 ・取り組みがある 7人 ・取り組みがない 26人		・一般にむずかしい事だと思います。 ・福祉サービスが適切に受けられるよう必要に応じて活用します。 ・研修を通じて制度を理解しアドバイス出来るようにしている。	
25		高齢者への支援	高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づいて、高齢者等への支援を行っています。	・積極的な取り組みがある 4人 ・取り組みがある 15人 ・取り組みがない 12人		・包括支援センターの紹介等を行っている。 ・民・児協の定例会や出前講座で取り組みについて勉強会を実施している。 ・ケアマネージャーとして、日常的に高齢者に対する支援を行っている。 ・ケアマネージャーに相談し支援している。	
26		障害者への支援	障害者福祉計画に基づいて、障害者等への支援を行っています。	・積極的な取り組みがある 0人 ・取り組みがある 12人 ・取り組みがない 17人		・民児協の定例会や出前講座で取り組みについて勉強会を実施している。 ・必要な情報を提供したり、相談援助を行っている。	
27		子ども・子育て家庭への支援	子ども・子育て支援事業計画に基づいて、社会全体で子育てを支えています。	・積極的な取り組みがある 3人 ・取り組みがある 23人 ・取り組みがない 9人		・自警団、地区の公民館事業等を通し支援している。 ・民児協の定例会や出前講座で取り組みについて勉強会を実施している。 ・少子化であるが、夏祭りや環境整備等の行事を通して地域の子どもの成長を後押ししている。	
28	3外出しやすい環境づくり	デマンドタクシーの運行					
29		放置自転車対策等の推進					
30		公共施設、道路等の整備の推進					
31		地域の見守り活動の推進	一人暮らしや認知症の高齢者、障害のある人の見守りや声かけなど、地域の見守り活動を地域住民や民生委員児童委員、ボランティア、「社会を明るくする運動」実行委員会などとの連携の下で行います。	・積極的な取り組みがある 5人 ・取り組みがある 19人 ・取り組みがない 10人		・自警団、地区の公民館事業、防犯協議会等を通して継続的に取り組んでいる。 ・ながら見守りの実施 ・各種行事への参加の声かけ ・民生委員児童委員と連携を図り、独居高齢者の見守りを行っている。 ・日常から、声掛けや見守り活動を行いつつ、情報の収集に努めている。	

32	4 防犯・防災体制の充実	地域における防犯意識の醸成	地域で自警団を結成し、組織的に地域の防犯活動に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な取り組みがある 4人 ・取り組みがある 10人 ・取り組みがない 19人 		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯青色パトロールの実施 ・防犯関連の組織で活動しており、地域の意識向上に取り組んでいる。 ・小学生の下校時に、子供ボランティアとして黄色い帽子をかぶり見守り活動を実施している。 	
33		自主防災組織の充実	自主防災組織を結成し、活動を積極的に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な取り組みがある 1人 ・取り組みがある 9人 ・取り組みがない 22人 		<ul style="list-style-type: none"> ・防火訓練などを毎年行っている。 ・今年度の市の取り組みを入れ活動している。防災用具も購入済。自治会が中心となる。 ・自治会の中で消火栓の位置や協力体制の構築を図っている。 	
34		災害ボランティアセンター機能の充実					
35		災害時要援護者支援制度の運用と充実	災害時要援護者に該当する人は、登録を積極的に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な取り組みがある 3人 ・取り組みがある 14人 ・取り組みがない 14人 		<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が登録を積極的に行っている。訪問ボランティアも推進している。 ・一人暮らしの人、体の不自由な人を登録し、民生委員が確認している。 ・自治会長に相談し、該当される住民に説明して理解してもらう。 ・独居高齢者や老老世帯の家族と連絡を取り、登録を勧めている。 	